

第1回 地域コミュニティ・PTA 部会 会議報告

日 時:令和7年2月13日(木)

19時~20時30分

場 所:川岸小学校 2階 ふれあい教室

○次 第

- 1.開会
- 2.自己紹介
- 3.川岸学園構想について
- 4.部会の役割と会議の進め方について
- 5.閉会

○部会で確認した内容

- ・川岸学園構想の概要について
- ・本部会の役割と会議の進め方について
- ・意見交換(PTA、国型コミュニティ・スクール)

○意見交換の概要

【PTAについて】

- ・在籍している小中学生の保護者や川岸の住民の方へのPTA規則や会則等の周知、意見の集約が課題。
- ・意見の集約をしてから部会で話し合いをしたらどうか。
- ・次回に向けてPTA組織をどうするかにフォーカスして進めるべき。小中学校のPTAの役割を確認した上で、この役割等は無くせないか、この取り組みは残したほうが良いのではという形で話し合いを進めていくのが良い。
- ・まずは部会の中でたたき台を作成し、それを提示して、出てきた意見を取り入れていく方法を取った方が動きやすい。すべて1から作るというのは困難。
- ・現行のPTA理事で話し合いをして、おおまかに決めていったほうがいい。小中学校が一緒に話し合いをしたらどうか。
- ・細かいことを説明しても保護者の中には詳細がわからないという方も大勢いると思うので、PTA役員でどんな形で決めていくかまずは1度話し合っていたきたい。今の小中学校のPTAで会合を行い、PTA役員の意見を拾うというのがまず第一歩ではないか。
- ・県内の公立義務教育学校の連合会(県P、郡Pの役員の選出方法等)の状況を教えてほしい。

⇒小学校、中学校のPTA役員で会合を実施し、話し合いを行う。

【コミュニティ・スクールについて】

- ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を立ち上げる必要があるのか。また、コミュニティ・スクールはPTA組織とは別なのか、ある程度兼ねる部分があるのか、知識や経験がない。
- ・国型のコミュニティ・スクールについては、県の南信教育事務所が導入支援等に取り組んでいることから、部会に講師を呼んで勉強会の実施等は可能。
- ・学校評議員は学校長が推薦、教育委員会が委嘱するもので、学校運営について意見ができる。コミュニティ・スクールとの一番の違いは、先生方の人事について意見ができる。ただ、やり方も色々あるため、先行事例を見ながら、岡谷市にあったものを考えていく必要がある。
- ・家庭の立場が大きくなりつつある中で、先生の人事に対して、地域や保護者が意見できるようになってしまったら、先生方がやりづらくなるのではないか。
- ・今の「岡谷版コミュニティスクール」との大きな違いは人事かもしれないが、あくまで1つであって、川岸学園なりのコミュニティの意味を捉えて、地域とPTAと学校の連携できる方向で新しいコミュニティ・スクールを作っていけばよい。

⇒南信教育事務所による勉強会を開催し、まずは国型のコミュニティ・スクールの理解を深めていく。

○次回の部会での検討事項

- ・小中学校のPTAで話し合い、次回の部会で意見を出し合う
- ・県内の義務教育学校の連合会の入り方

○次回の日程について

- ・4月23日(水) 午後6時30分 開催予定
川岸小学校 2階 ふれあい教室